

あと少しのポリオ根絶活動に必要なもの

-
- 公益財団法人結核予防会（JATA）理事長
 - 認定NPO法人全世代 代表理事
 - 名誉世界保健機関（WHO）西太平洋地域事務局長
 - 国際ロータリー ポリオ根絶アンバサダー
 - 独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）名誉理事長
 - 新型インフルエンザ等対策推進会議
新型コロナウイルス感染症対策分科会 前会長

尾身 茂

目次

【1】またパンデミックは起こるか？

【2】ポリオ根絶は可能か？

【3】西太平洋地域におけるポリオ根絶の経験

感染症と人類の歴史

パンデミックを起こしやすい感染症？

- ・スペイン風邪

1918-1919年 5,000万人が死亡

- ・アジア風邪

1957年 100万人が死亡

- ・香港風邪

1968年 75万人が死亡

- ・SARS

2003年 約800人が死亡

- ・新型インフルエンザ (H1N1)

2009年 28万人が死亡

- ・MARS

2012年 約500人が死亡

- ・新型コロナ感染症

2020年

これらはすべて
呼吸器感染症



結核＝
呼吸器感染症の代表格

感染症と人類の歴史

繰り返されるパンデミックの背景

■ ウィリアム・H・マクニール(アメリカの歴史家)

1976年『疫病と世界史』

感染症＝人類と自然の複雑な相互作用システムの産物

■ 従来の考え方

人・モノの世界的な動き、森林伐採、動物と人間の接触機会の増加、地球温暖化

感染症と人類の歴史

繰り返されるパンデミックの背景

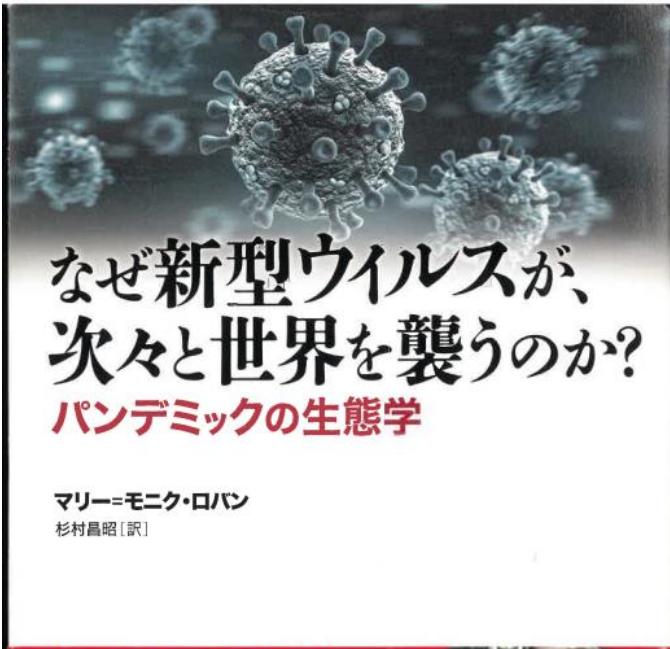
■ 最近の新たな考え方

野生動物の種類・数 ↓↓↓

家畜動物の数(ウシ、トリなど) ↑↑↑

狭隘な飼育場での飼育⇒家畜動物へのストレス↑↑↑

⇒免疫が減弱、動物内にいるウイルス・細菌が活発化⇒人間に感染



結核：世界の健康問題（三大感染症）

2021年 新規患者（感染者）数および死者数（推定）

| | 新規患者数 | 死者数 |
|--------------------------------|----------------|-------------------|
| 結核 ^{*1} | 1,060万人 | 160万人※ |
| HIV ^{*2} | 150万人 (感染者) | 65万人 (AIDS関連死) |
| マラリア ^{*3} | 2億4100万人 | 62.7万人 |
| 新型コロナ ウイルス感染症 ^{*4} | 1億6450万人 | 240万人 |

※うち 18.7万人はHIV合併

*1 WHO:Global tuberculosis report 22

*2 UNAIDS:FACT SHEET 2022より作成

*3 WHO:World malaria report 2021より作成

2021年推定値

*4 Johns-Hopkins Coronavirus Resource Center
(2019.12 - 2023.1の年あたり平均)

免疫状況と発病の関係

病気の発症は病原体と人の免疫力・抵抗力のバランスで決まる
抵抗力・免疫力が弱まると発症する

結核

- ・現在:若い時は免疫力が強く感染しても発症しないが、高齢者になり発症
- ・戦時中:若い人の免疫力が弱いので青年期に発症
- ・今も昔も社会的な弱者は感染しやすい

コロナ

- ・基礎疾患のある人は発症、重症化しやすい

目次

【1】またパンデミックは起こるか？

【2】ポリオ根絶は可能か？

【3】西太平洋地域におけるポリオ根絶の経験

現状

- ・アフガニスタン、パキスタンのサーベイランスの質は、かなり信頼できるものになっている
- ・とくにhigh-risk areasではEnvironmental Surveillanceが機能し始めている
- ・そうした中、両国での野生株由来のポリオ患者数は、コンスタントに100を下回っている

| | アフガニスタン | パキスタン |
|-------|---------|-------|
| 2024年 | 25 | 74 |
| 2025年 | 9 | 30 |

したがって

両国の野生株由来のポリオ患者数がゼロ報告になれば、世界のポリオ根絶に一歩近づく！！

解決すべき課題

- ・アフガニスタンの主たる問題：タリバン
- ・パキスタンの主たる課題：政権交代による患者数の上下
- ・ワクチン接種由来による麻痺（VDPV）患者が広範囲に報告

したがって

現在、OPVとIPVのコンビネーション接種が行われている。
なるべく早く、IPVの2回接種を実施。

求められるアクション

- ・最優先課題：アフガニスタン、パキスタン両国の
野生株由来のポリオ（WPV）患者をゼロに。
- ・全ての国がサーバイランスの質を強化・維持。
- ・高い予防接種率の維持または獲得
- ・両国に協力を促す何らかのインセンティブの検討
例：ポリオだけでなく他の母子保健や下水サービス向上、ワクチンに対するミストラスト
地域の人々に大きく影響を与える人との対話、両国に影響力を持つ国との連携
- ・ポリオ根絶に対する財政的支援、コミットメントの継続
なお、cVDPV(circulating vaccine derived polioviruses)の伝播がなくなったことの認定は、
OPVの接種が完全に中止されてから始まる

目次

【1】またパンデミックは起こるか？

【2】ポリオ根絶は可能か？

【3】西太平洋地域におけるポリオ根絶の経験



ちょっと休憩？！

時間チェック

根絶に向けての3戦略



① 定期予防接種
(一歳未満)



② 特別予防接種週間
(過去の予防接種歴にかかわらず
5歳以下の小児全員)

③ 急性弛緩性麻痺 (Acute Flaccid Paralysis: AFP) サーベイランスの立ち上げ



- 1 : 発展途上国では小児麻痺の鑑別診断 困難
- 2 : したがって、すべての急性弛緩性麻痺を報告
- 3 : 同時に便検体採取→WHO指定の検査機関
- 4 : ところで、人口10万人に最低1例のAFP/年間
- 5 : AFPサーベイランスのメリット
 - ・ 真の小児麻痺症例の見落とし↓
 - ・ サーベイランスの質の評価が内在

資金の絶対的不足



政治的課題：紛爭地域



実行上の困難



最後の“駄目押し”





WHO西太平洋地域事務局にて拡大防止予防接種を実施
中国にて子供へのポリオワクチン接種の様子

社会的に微妙な問題

中国に於けるポリオ症例
90%が第二子、第三子～～

最後の症例 : Cambodia, 発症 3月 19日 1997年





poliomyelitis *cases* **1998**

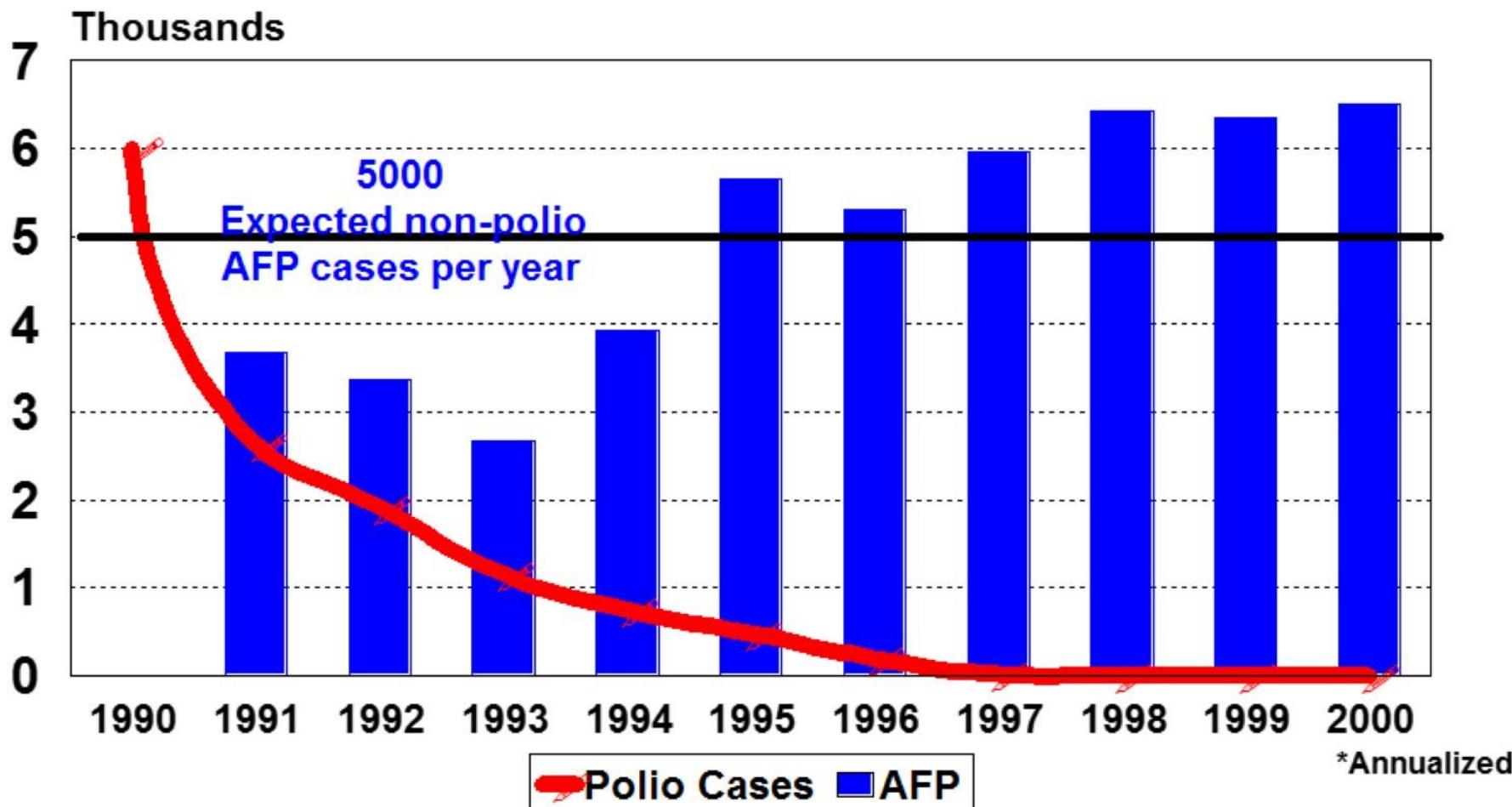
Number of poliomyelitis cases:

0

Last polio case in WPR
19 March 1997

Polio Cases and Acute Flaccid Paralysis

Western Pacific Region 1990-2000*



国際ロータリーの皆さんへのお願い

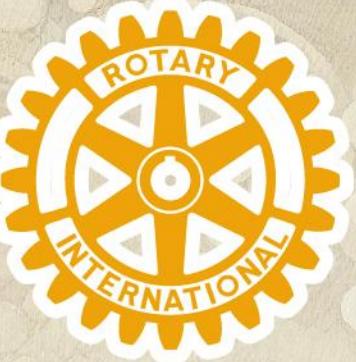
ポリオが地球上から根絶されるまで、
お付き合いをお願いします。



ご清聴ありがとうございました



Rotary
District 2790



**ハつの心で繋ぐ未来への誓い
「ポリオのない世界」**

**第2790地区 2025-26年度ガバナー 時田 清次
2025年10月20日ロータリー研究会**

Rotary
District 2790



ハつの心で繋ぐ未来への誓い

私たちの故郷千葉、その千葉に残る
「南総里見八犬伝」の物語の八徳
「仁義礼智忠信孝悌」を通じた
美術品を展示することにより、ロータリーの公共イメージ向上、青少年の
社会教育、ポリオ根絶活動を行い、

UNITE FOR GOOD
「よいことのために取りおう。」
実現したものです。

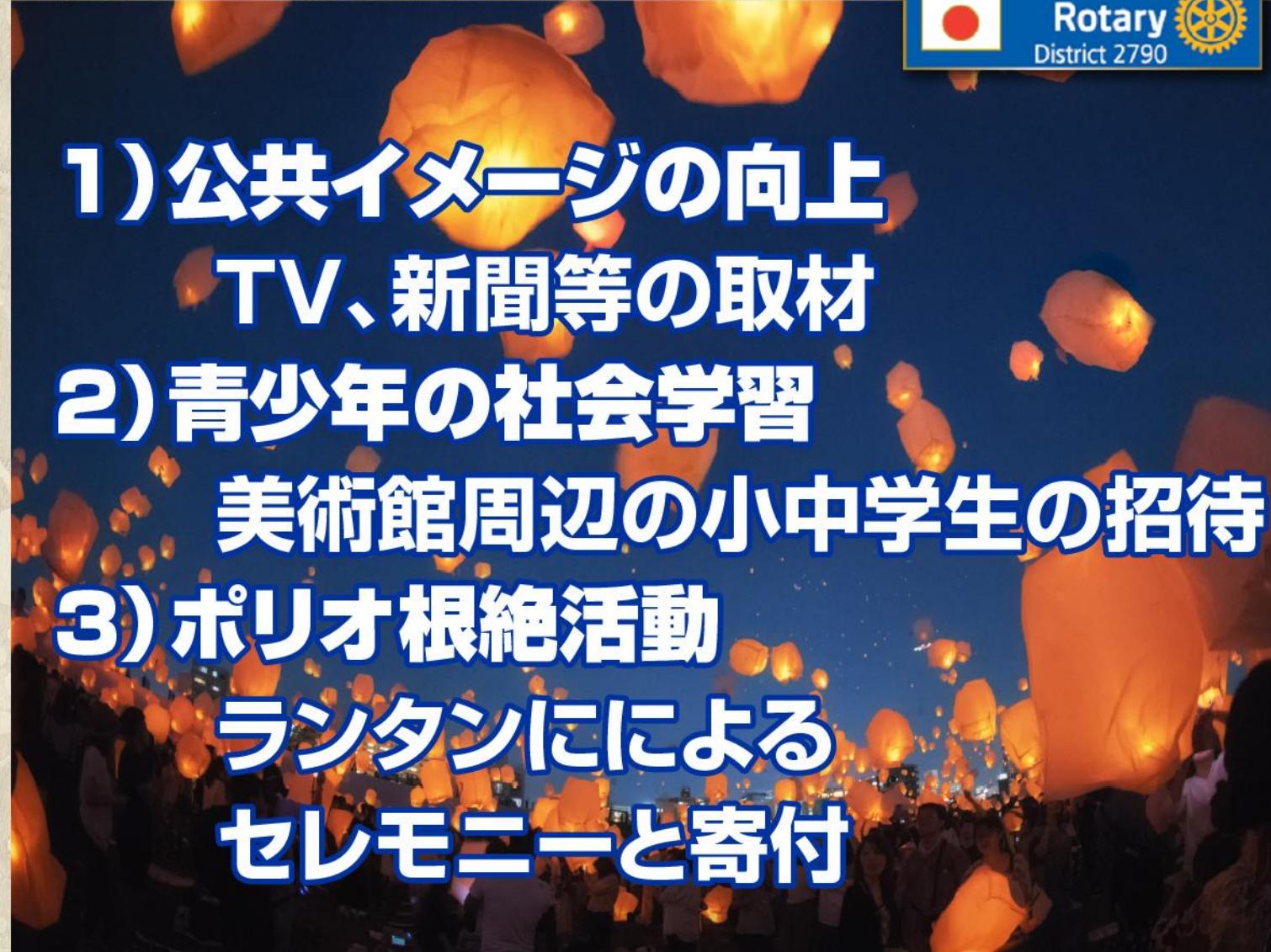




プロジェクト内容

県内6カ所の美術館・
博物館で開催！



- 
- 1) 公共イメージの向上
TV、新聞等の取材
 - 2) 青少年の社会学習
美術館周辺の小中学生の招待
 - 3) ポリオ根絶活動
ランタンによる
セレモニーと寄付

Rotary
District 2790



ハつの心で繋ぐ未来への誓い

1) プロジェクトへの動員数

招待状の配布

2) 公共イメージ向上のメディアの活用

TV・新聞・ラジオ

3) 青少年の社会学習

IAC年次大会

学校への卓話

4) ポリオ根絶寄付

寄付者にハ犬伝のポストカードをお礼に配る



BAYFM78





ハつの心で繋ぐ未来への誓い



ポリオ根絶は、ロータリアンがハ徳の精神を現代において具現化する、最も大規模で具体的な活動であるといえます。

その中で、

仁の心で、全ての子供の命を守る。

ポリオ根絶は子供たちとの約束です。

Rotary
District 2790



District 2790
"Hakkenden" Project

ご清聴ありがとうございました。



Rotary
District 2620



UNITE FOR GOOD



『会社 de ワクチン』

エンドポリオキャンペーン

ポリオ、根絶！



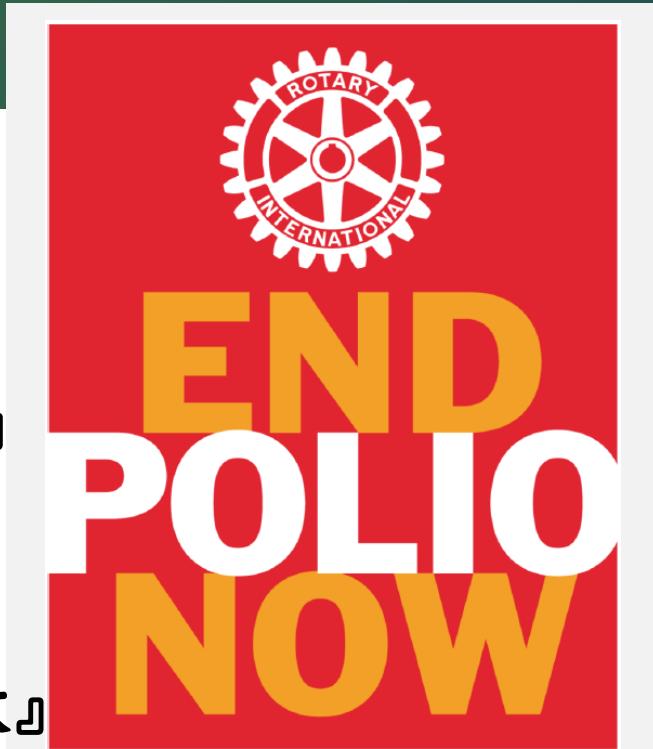
国際ロータリー第2620地区
2025-26年度 ガバナー
稻葉 雅之(伊東西RC)

ステッカーを作成し 効率的な寄付を実現

企業に協力を呼びかけ、効率的に寄付を集める



『寄付増強』
『公共イメージ』
『貢献実感』
『参加基盤拡大』



ステッカーを貼った車が走ることで「END POLIO」を広く啓発社会貢献を見る形に

走るメッセージ ~市民に伝えるポリオ根絶への想い~



地区統一行動: エンドポリオキャンペーン

ー企業・事業所にも拡大ー

会社deワクチン



2620地区の取り組み



募金 寄付



ご清聴ありがとうございました



よいことのために手を取りあおう

皆様のご協力をお願いします



LET'S UNITE FOR GOOD!

Rotary
District 2620





2025
ポリオ根絶
チャリティカラオケ
パーティー

国際ロータリー
第2720地区
ガバナー 藤田千克由

事業について

事業名:2025ポリオ根絶チャリティカラオケパーティー

主催:国際ロータリー第2720地区

(ロータリー財団部門・公共イメージ向上部門)

開催日時及び場所

熊本会場(ライブハウス 熊本B9)2025年10月25日(土)16:30~

大分会場(ライブ&ギャラリーBRICK BLOCK)

2025年10月31日(金)18:00~

対象:ロータリアン



事業の目的

- ①ロータリーの重点活動の一つである「エンドポリオプラス（ポリオ根絶運動）」の推進
- ②ロータリアン自らが楽しみながら奉仕につなげることをテーマとした、音楽とカラオケを通じた募金活動





事業の概要

熊本会場および大分会場の2拠点において、ロータリアンを対象に「チャリティカラオケパーティー」を開催

入場登録料は3,000円、カラオケ参加登録者はプラス2,000円とし、プログラム内に熊本3バンド・大分3バンドのロータリアンバンドによる演奏を盛り込んだ

- ・ 入場登録料:3,000円
- ・ カラオケ参加登録料:2,000円
- ・ 出演バンド数:熊本4バンド／大分4バンド(鎮西学院ジャズアンサンブルRAC特別参加)
- ・ 対象者:ロータリアン
熊本会場登録者133名・カラオケ登録者14名
大分会場登録者101名・カラオケ登録者14名

成果および実績

ポリオ募金結果

熊本会場では301,527円
大分会場では181,167円
合計482,694円

エンターテインメント効果

「楽しまなきやロータリーじゃない」という精神のもと、音楽と笑顔あふれる交流の場として成功裡に終了



広報・公共イメージ向上

熊本会場はRKK熊本放送

大分会場はOAB大分朝日放送

それぞれ取材・放映され、地域社会における
ロータリー活動の認知向上に寄与



今後の展望

次回以降は、ロータリアンのみならず一般市民の皆さまにも参加いただけるイベントとして発展させ、より多くの人々に「エンドポリオプラス」への理解と支援の輪を広げていきたい



総括

「楽しむ奉仕」というロータリーの本質を体現した本事業は、会員同士の親睦を深めるとともに、地域社会に対しても明るく前向きなメッセージを発信する機会となつた

